



農業経営支援室

を設置しました



代表理事専務
佐藤 茂良

農業における高齢化・生産者減少の流れが顕著である中、一方では大規模化が進むと同時に経営の悩み・課題は高度になってきております。地域の農業が成長していくためには、高度化する経営の悩みに的確な「ソリューション」を提案し農家・農業の問題解決を手助けしていく必要があります。JAには総合事業という強みがあり、その力を発揮することで皆さまに的確なソリューションを提供でき、農家・農業の発展に繋がることと考えます。

そこで、これまでの訪問活動に加え、行政や関係団体とも密に連携を図り経営をサポートする「ソリューションの提供」を強化し、農業者の皆様に貢献すべく「農業経営支援室」を設置いたしました。

今後、農家との対話を行いながら、悩み・問題点をつかみ、課題解決のためのソリューション提案を行ってまいります。

【メンバー】



室長 渡部 治

- 得意分野
- ・ 営農指導
- ・ 営農支援



次長 佐藤 充

- 得意分野
- ・ 農業融資
- ・ 制度資金全般



課長 小松 世

- 得意分野
- ・ 農業補助事業
- ・ 新規就農関連
- ・ 法人関連



係長 斉藤久美子

- 得意分野
- ・ 青果精算
- ・ アプリケーション



佐々木 敬太

- 得意分野
- ・ 融資全般

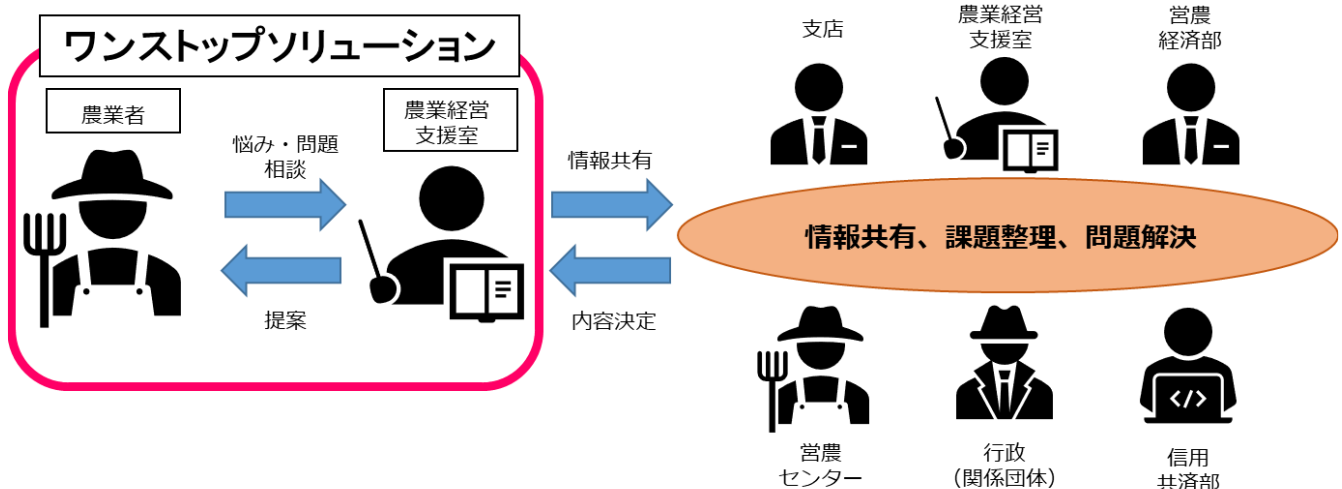


山野 隼

- 4月より正職員
- 農家の方々力になれるよう一生懸命頑張ります。

【目指すはワンストップソリューション】

農業者の悩みに対し「ワンストップ」で対応するため、JA内部の各部署および、行政・関係団体等と密に連携し、悩み・問題に対する適切なソリューションを協議することで、農業者に提案・提供を行います。



【所在地】 JA秋田しんせい本店 【電話】 0184-74-6020



農業クラウドサービスの紹介

1.Z-GIS (営農管理システム)

圃場情報を電子化し、効率的な営農管理や情報の「見える化」をサポート。

データをクラウド上に保管し、スマホやタブレットでも閲覧でき、情報を共有化。



2.Z-BFM (営農計画策定支援)

農業所得が最大となる営農計画を作成補助し、効率的な計画作成をサポート。また、新規作物・新技術導入のシミュレーションも可能。



3.天晴れ (リモートセンシング)

人工衛星から圃場を画像解析し、生育状況を確認。生育の差の確認や圃場巡回の手間を削減。



行動予定

3月	4月～6月	7月～9月
<ul style="list-style-type: none"> ・風雪被害農家訪問 ・個別支援先の決定 ・農業生産法人座談会 (代表者、構成員と意見交換) ・行政、関係団体と情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援対象者と定期的な情報交換 ・農業クラウドサービスの導入 ・訪問役職員の担当制構築 ・座談会 ・新規作物栽培資料作成、提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果のフィードバック ・次年度取組作物の選定 ・座談会